

「重度身体障害者の過去・現在・未来」

イベント名：第33回リハ工学カンファレンスinあつぎプレカンファレンス
第7回合同シンポジウム

主催団体：日本リハビリテーション工学協会、全国頸髄損傷者連絡会
ケアリフォームシステム研究会

開催日時：2018年3月3日（土）13:00－16:30

開催場所：厚木市文化会館

司会：西村 顕 所属：横浜市総合リハビリテーションセンター

演者：池田幸一 所属：トヨタ自動車（株）T-フロンティア部

植田瑞昌 所属：フリーランス（一級建築士）

松沢 充 所属：パナソニックエイジフリー（株）マーケティング本部

麩澤 孝 所属：全国頸髄損傷者連絡会／リハ工学協会理事

参加者数：86人



当事者である麩澤氏から福祉機器生活の未来と現状、松澤氏から家電の方向性や地域包括システムの提言、池田氏から家庭にロボットが入り人と共生するパートナーロボット社会について講演があり、植田氏を交えてディスカッションが行われ、フロアからロボットや住環境についての質問や意見が出され、参加者の皆さんが興味深く聞かれていました。

かながわりハビリロボットクリニック・神奈川リハビリテーション病院に加えて、厚木市が共催協力してくれたこともあり、一般市民からの参加も多くありました。車いすユーザーも20名近い参加、リハビリ関係者、エンジニア、企業・住宅関係、一般市民、と多種多様な立場からの参加があったことが今回の合同シンポジウムの成功と8月の厚木でのリハ工学カンファレンスに繋がったことと思います。